編集後記

日に日に寒さが増してきました が、読者の皆様はいかがお過ごしで しょうか。昨今は,季節外れの大型 台風による各地での甚大な被害や, 過去の常識では考えられない事件等 が頻繁におこるなど、何かと暗い話 題が多いかと思います。しかしなが ら, アベノミクスによる需要の高ま り、そして何と言っても 2020年の 東京オリンピック・パラリンピック 招致が決定したことは、業界関係者 としても個人的にも非常に嬉しい出 来事です。「今、ニッポンにはこの 夢の力が必要だ」このキャッチフ レーズが現実となることは決定しま した。今後 2020 年に向けて様々な ことが整えられていきますが、その プロセスにおける我々業界関係者の 使命・役割は、とても大きいと思い ます。大袈裟かも知れませんが、あ る意味時代が変わるのではないで しょうか。2020年開催後が少し怖 いですが…

さて, 今月のテーマは「建築」で す。昨今の建築工事では、解体・新 築・再生・保存などの多様なニーズ があり、それらを社会や環境に配慮 しながら実施していくことが求めら

れています。それらを実現する為に は様々な機械力が大切な要素であ り、機械力無くして建物に係る工事 は達成できません。そのような思い を抱きながら、各社の最新技術や地 道な取り組みにフォーカスし、社会 資本のエイジングに対応するロボッ ト技術の展望についての巻頭言に始 まり、建設現場における省エネル ギー化推進に関する行政の方向性. 省人化に繋がる自動搬送システム. 様々な特殊解体工法、耐震・免震に 関する開発、厳しい条件下での超高 層ビル建設やその基礎技術など幅広 く掲載しました。ずいそうでは、建 築と機械の融合の大切さを身を持っ て感じ、そのことに注力した経験談 を紹介しています。また, 交流のひ ろばでは,「異業種協業で考える未 来の百貨店」について、建築の未来 を違った視点で捉えた興味深い取り 組みを紹介しています。是非、皆様 の今後の取り組みの参考として頂け ればと思います。

最後になりましたが、ご多忙中に も関わらず、ご執筆頂いた皆様に深 く御礼申し上げますと共に、執筆依 頼に快諾して頂き、社内調整等々ス ピーディーに対応して頂きました各 社関係者の皆様に,改めて深く感謝 (久保・原口) 申し上げます。

> 九 州 幸

12月号「基礎工・地盤改良特集」予告

- ・宅地の液状化被害可能性判定に係る技術指針
- ・既設橋に極近接した条件下での場所打ち杭の施工
- ・ベトナムで初めての鋼管矢板基礎

ハノイ・ニャッタン橋(日越友好橋)の主塔基礎工

- ・削孔振動波形を用いた地盤判定技術の開発
 - 地下ダム施工および一般基礎杭における地盤判定への適応
- · 気泡掘削等厚式連続壁工法 AWARD-TREND
- ・軌道内におけるジェット併用機械攪拌工法を利用した仮土留め工への適用 相模線交差部における人道地下道新設工事に伴うメカジェット工法
- 縦型回転混合攪拌中層改良工法の概要

ツイン・ブレードミキシング工法による多層地盤改良施工

- ・静的締固め砂杭工法 SAVE コンポーザー
- ・徳山下松港改修工事における事前混合処理工法 耐震岸壁への再生技術と回転式破砕混合機方式
- ・構造物近傍・直下の薬液注入工法による地盤改良 霞ヶ浦用水施設の効用回復工事 超多点注入工法
- ・小型機械による大口径機械攪拌工法 MITS 工法 CMS システム
- ・狭隘部における大深度ニューマチックケーソンの施工 千代田区永田町一丁目付近再構立坑設置工事
- ・ソイルセメント壁および深層地盤改良の汎用施工機械 CSM 工法の施工機械の開発・展開・改良

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司 加納研之助 桑垣 悦夫 後藤 勇 佐野 正道 新開 節治 関 邦彦 克己 髙田 田中 康之 塚原 重美 中岡 智信 中島 英輔 橋元 和男 本田 宜史 渡邊 和夫

編集委員長

田中 康順 鹿島道路㈱

編集委員

川西

吉田 潔 国土交通省 持山 昌知 農林水産省

伊藤 (独)鉄道・運輸機構

篠原 望 鹿島建設(株)

洋二 大成建設(株) 立石

藤吉 卓也 清水建設(株)

赤井 亮太 (株)大林組

久保 隆道 (株)竹中工務店

安川 良博 (株)能谷組 健之

継彦 佐藤丁業(株) 京免

岡田 英明 五洋建設(株)

齋藤 琢 東亜建設工業㈱

(株)奥村組

赤神 元英 日本国十開発(株)

(株) NIPPO 相田 尚

岡本 直樹 山﨑建設(株)

原 茂宏 コマツ 山本 茂太 キャタピラージャパン(株)

船原三佐夫 日立建機(株)

原口 宏 コベルコ建機(株)

石倉 武久 住友建機(株)

(株) KCM 和田 一知

江本 範多機械㈱

藤島 崇 施工技術総合研究所

電話 (092) 436-3322

事務局

日本建設機械施工協会

建設機械施工 Journal of JCMA

第65巻第11号 (2013年11月号) (通巻765号)

Vol. 65 No. 11 November 2013

2013 (平成 25) 年 11 月 20 日印刷

2013 (平成 25) 年 11 月 25 日発行 (毎月 1 回 25 日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三 刷所 日本印刷株式会社

一般社団法人 日本建設機械施工協会 発 行 所 〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; http://www.jcmanet.or.jp/

部〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30

施工技術総合研究所〒 417-0801 静岡県富士市大渕 3154 電話 (0545) 35-0212 北 海 道 支 部〒 060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8 電話 (011) 231-4428 审 北 支 部〒 980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1 雷話 (022) 222-3915 北 陸 幸 部〒 950-0965 新潟市中央区新光町 6-1 電話 (025) 280-0128 中 部 丰 部〒 460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-10 電話 (052) 962-2394 関 西 幸 部〒 540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4 電話(06)6941-8845 曲 国 幸 部〒 730-0013 広島市中区八丁堀 12-22 電話 (082) 221-6841 Щ 玉 支 部〒 760-0066 高松市福岡町 3-11-22 電話 (087) 821-8074